



災害が頻発する今こそ、大切な家族を守れる丈夫な「家」がほしい…。その願いを実現する「レンガ造りの家」の隠れた魅力とは？



さいたま市緑区にたたずむレンガ造りの住宅街

「三匹のこぶた」はどなたでもおなじみのお話です。この一匹目のこぶたはわらで、二匹目は木で、三匹目はレンガで家を造る。わらや木の家はオオカミに吹き飛ばされてしまいますが、レンガの家だけはびくともしなかった…。レンガ造りの家が頑丈だとい

災害に強いレンガの魅力が見直されている

レンガ造りの建物という、レトロなイメージをお持ちの人も多いでしょう。明治時代

には欧米から取り入れた近代文明の象徴として、日本でもレンガ造りの建物が増えてい

きます。2024年から一万年札の肖像として登場する渋沢栄一の話で目にかかる東京駅や、世界遺産に登録された富岡製糸場、横浜の赤レンガ倉庫など、いずれも明治・大正期に建てられたもの。そ

「三匹のこぶた」はどなたでもおなじみのお話です。この一匹目のこぶたはわらで、二匹目は木で、三匹目はレンガで家を造る。わらや木の家はオオカミに吹き飛ばされてしまいますが、レンガの家だけはびくともしなかった…。レンガ造りの家が頑丈だとい

火で木造家屋が密集したロンドン市内では85%の家屋が焼失したと言われている。同様のことがイタリア、ドイツ、アメリカでも起こり、これがきっかけでレンガ造りの家屋が急速に増加していき11000、12000℃で焼成されるレンガは優れた耐火性能を持っており、火災に強いのです。またレンガの内部には無数の小さな気泡が存在しています。このため外部からの温度変化に影響を受けにくい断熱性も持っています。またこの気泡は音を遮断してくれま

の外観の美しさだけでなく、火災の多い日本の都市ではその優れた耐火性などから、レンガ造りは最先端の建築法として各地に広がっています。しかし1923年の関東大震災により、耐震性を考慮していなかった当時のレンガ造りの建物の多くが倒壊。甚大な被害を生じてしまい、これ以降は日本でのレンガ造りブームは急速に下火となりました。

おもな外壁材とメンテナンス・耐久年数の目安

外壁材	メンテナンス周期	耐久年数
塗り壁	10年	30年
サイディング材	10年	30年
ALC	10年	50年
レンガ	不要	100年以上

※各年数は推定年数

す。レンガは耐火性・断熱性・遮音性に優れた材料と言えます。地震大国・日本では、レンガ造りはなじまないとはいえない人も少なくないでしょう。しかし木造や鉄筋などとレンガを組み合わせることで耐震性は高くなり、震度6の揺れにも耐えるというデータもあるほど。その耐火性と合わせると災害に強い材料であると言えます。

100年安心の家づくりを目指して

1999年に設立されたブリック東京では「メンテナンスフリー」「耐震性」「年月が経つほどに味わいの増す美観」の3点において「100年のレンガ外壁」を目指しています。



ブリック東京株式会社
〒336-0911 埼玉県さいたま市緑区三室867-7
TEL: 048-709-2222 URL: www.brickproducts.jp



保育園の外壁にも使用されているレンガ

さて最近、そんなレンガが再び注目されているのをご存じでしょうか。昨今、台風や豪雨などの自然災害は猛烈化・巨大化しています。「記録的な」「観測史上初」などの言葉も耳にすることが増えました。家屋の倒壊など各地で大きな被害を出し、私たちの暮らしを破壊してしまう自然災害が多い中、災害に強い建築材料としてレンガの魅力が見直されているのです。



レンガ造りの建物は独特の味わいを醸し出します

活動レポート

さいたま市長との
会見を行いました

令和元年9月27日

場所：さいたま市役所
桶本さいたま市議会議員及び当連絡会役員、他で清水市長との会見に臨みました。

本年は、待機児童解消に向けた要望、私立保育園の経営環境改善に向けた要望、保育環境・保育士の確保に向けた要望などを提出させて頂きました。

さいたま市保育園連絡会
「第1回全体会」を開催しました

令和元年8月23日(金)

場所：浦和岸町公民館
令和元年8月23日(金)に浦和岸町公民館会議室において第1回全体会を開催しました。さいたま市幼児政策課、保育課からご担当者様にご臨席賜り、情報交換をさせて頂きました。また、各分会・各委員会も同時開催しました。多くの会員の皆様にご出席いただき、実りのある全体会となりました。

研修部より

救命救急講習を開催しました

令和元年7月6日14時

場所：はぐはあと ひまわり保育園クローバー
令和元年7月6日に救命救急講習を開催しました。さいたま市消防署より消防隊の方に講師にお越しいただき、3時間の講習を実施しました。

今回は乳幼児の救命救急講習(普通救命講習Ⅲ)を実施し、多くの方に参加して頂き、自身の園で生かせる



「今更聞けなう、雇用に関する基礎知識」の研修を開催しました

令和元年9月28日13時

場所：大宮中部公民館
特定社会保険労務士の山口恵美子先生を講師にお迎えして、雇用に関する基礎知識を学びました。各園における悩みなどを少しでも解消でき、充実した研修となりました。

